



三内丸山通信

イコモス「勧告」「記載」

世界文化遺産登録間近

三内丸山遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、ユネスコ世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスから「世界遺産一覽表」への「記載」が適当と勧告され、いよいよ世界遺産登録が間近に迫りました。

7月16日～31日に開催される第44回世界遺産委員会で、審議が行われる予定です。この委員会で「北海道・北東北の縄文遺跡群」が「記載」と決議されると、正式に世界遺産に登録されることとなります。

産に登録されれば、平成21年1月のユネスコの「暫定一覽」記載から12年を経ての実現となります。



【勧告を祝う三内丸山応援隊】

産に登録されれば、平成21年1月のユネスコの「暫定一覽」記載から12年を経ての実現となります。

世界遺産「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(通称：世界遺産条約)に基づいて作成される「世界遺産一覽表」に記載されたものをいいます。

ユネスコ・国際連合教育科学文化機関の略称。教育や科学、文化などの活動を通じて平和な世界の実現を目指しています。

イコモス…国際記念物遺跡会議の略称。ユネスコに対して専門的立場から助言します。世界遺産委員会…ユネスコ加盟国のうち、選挙により21の国の委員国で構成されます。

三内丸山遺跡では、縄文時代のムラの移り変わりや、そこに暮らした人々の生活環境を解き明かすため、平成7年度から発掘調査を継続して行っています。

今年度の第45次発掘調査は、5月17日(月)～10月22日(金)の期間で昨年度に引き続き遺跡北端部と、南の谷北側の調査を行います。

遺跡北端部では、昨年度までの調査により2本の溝状遺構が見つかっていました。うち1本は約30m以上の長さがあり、さらに西側へ延びることから、今年度はその延長が想定される範

三内丸山遺跡の第45次発掘調査開始!



【第45次調査の範囲 (写真の上が北)】

囲を調べ、規模や構造を確かめます。南の谷北側では、地下にどのような遺構(竪穴建物跡など)が分布するのか調べ、集落の広がりを確認します。

発掘調査現場は、遺跡北端部を9月中旬までの休館日等を除く月曜日・金曜日に公開します。この期間中、午前11時から、現場ガイドを行います。発掘調査の成果や素朴な疑問などに発掘調査担当の専門職員がわかりやすくお答えします。ぜひ発掘調査現場をご覧ください。

発掘の最新情報はこちら



三内丸山遺跡センターHP
「発掘最前線」毎週更新中!

特別展

「あおもりの縄文世界」開催

1万年以上も続いた縄文時代。縄文時代の人びとは、気候変動などの環境変化に適応しながら、自然とともに生活していました。

この展覧会では、縄文時代の歴史を紐解き、当時の人びとの生活の様子を「ムラの変遷」、「資源の利用」、「交易」、「精神世界」の4つに注目して紹介します。

令和3年度特別展「あおもりの縄文世界」

会場：三内丸山遺跡センター企画展示室
会期：令和3年7月17日(土)～令和3年11月28日(日)
観覧時間：常設展に準じます。
休館日：8月23日(月)、9月27日(月)、10月25日(月)、11月24日(水)
観覧料：一般800円(640円)、高校生・大学生等400円(320円)、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※特別展観覧料で遺跡を含む常設展も観覧可能です。



【特別展のチラシ】

令和3年1月23日から開催した企画展「イミテーション・ワールド」が令和3年5月30日で閉幕しました。

企画展名のイミテーションとは「模倣、まね」という意味です。このまねるという行為に注目して、大小の関係、凹凸の関係、素材の変化、模写・借用という4つのテーマで三内丸山遺跡の出土品を紹介しました。

写真は、高さ約60cmの土器と、高さ約6cmのミニチュア土器の大きさの違いがわかるように並べています。このように、オリジナル

今年度の三内丸山縄文祭り

三内丸山遺跡センターでは毎年、四季の三内丸山遺跡を楽しむ、縄文文化を学べる「祭り」を開催しています。昨年度は秋と冬のみで開催となりましたが、皆さんに感染症対策に協力いただきつつ、砂場からミニチュアの土器・土偶等を発掘する「発掘ひろば」等の人気イベントを行うことができました。

今年度も春・夏祭りの準備を進めていましたが、残念ながらどちらも開催中止。現在は9月18～20日の「さんまる

「イミテーション・ワールド」閉幕！

ルとそれをまねたミニチュア品等を比較できるように展示しました。

また、「どっちが本物？あなたもじょうもん鑑定家になろう！」と題して、来館者に、本物の出土品と、現代のレプリカを見分けてもらうといったトピック展示もあり、好評でした。これからの企画展・特別展をとおして、三内丸山遺跡や縄文文化について理解を深めていただける展示を企画していきます。



【展示の様子】

JOMONの日に向けて準備中です。世界文化遺産登録予定の今年度は、例年の人気イベントに加え、さらに豪華イベントを開催するなど、色々と企画しております。お楽しみに。



【「縄文パノラマビュー」の様子】

さんまる縄文体験について

発掘やものづくり体験から三内丸山遺跡や縄文文化にふれる「さんまる縄文体験」を実施しています。

今年度は、8回の体験を予定しています。「土偶のレプリカ作り」では、遺跡出土品のレプリカを作成している方を講師に招いて、本物の土偶を型取りしながらレプリカ作りの工程を学びます。「土器を作る」・「野焼き」では、縄文時代と同じように粘土で土器を作り、焼き上げます。

ほかにもガラス容器に縄文時代のムラの箱庭を作る「縄文のムラの箱庭を作ろう」、土器の破片にそっくりなクッキーを作る「ドッキーを作ろう」など、

祭りの開催情報は公式SNSやホームページ等でお知らせしますので、ぜひお越しください。皆さんのご参加、心からお待ちしております！

さんまる縄文体験 今後の予定

| | |
|--------------------------------------|----------|
| 発掘をしてみよう | 7月30日(金) |
| 土偶のレプリカ作り | 8月7日(土) |
| 縄文のムラの箱庭を作ってみよう | 8月21日(土) |
| 土器を作ろう ※2回コース：11/6の「野焼き」に参加できる方限定 | 9月11日(土) |
| 釣り針を作ろう | 10月9日(土) |
| 野焼き ※2回コース：9/11の「土器を作ろう」に参加した方のみ | 11月6日(土) |
| 土偶を作ろう | 1月22日(土) |
| ドッキーを作ろう | 2月11日(金) |

※対象は小学3年生以上(小学3・4年生は保護者の同伴が必要)です。
※体験の内容や申込み期間は電話やホームページでご確認ください。



【「土偶のレプリカ作り」の様子】

楽しみながら縄文の勉強ができる体験が盛りだくさんです。体験をとおして、縄文時代の生活を少しだけのぞいてみませんか？みなさまのご参加をお待ちしています。

三内丸山遺跡センターのご案内

新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、イベントが開催中止や日程変更等になる場合があります。ご来館の前に、最新の情報をホームページ等でご確認ください。

開館時間 (入場は閉館の30分前まで)

10月～5月 (GWを除く)：9時～17時
GW・6月～9月：9時～18時

見学料

一般410円(330円)
高校生・大学生等200円(160円)
中学生以下無料
※()は20名以上の団体
※特別展の観覧料は別途

休館日

毎月第4月曜日
(第4月曜日が
休日の場合はその翌日)
12月30日～1月1日
※7月は全日開館します

公共交通機関

・青森市営バス
JR青森駅から⑥番乗り場 三内丸山遺跡線
三内丸山遺跡前で下車 料金310円 約30～40分
・ねぶたん号
JR新青森駅東口 三内丸山遺跡前で下車 料金300円 約15分

さんまるミュージアムの定時案内

当面の間、休止します

ボランティアガイドの定時案内

1回目は9時15分から 2回目以降は、10時から1時間ごと
※4月～9月は、16：00出発、
10月～3月は15：30出発が最終となります。
お問い合わせ先：三内丸山応援隊 017-766-8282

重要文化財10点を保存修理しました！



【令和2年度に保存修理した重要文化財】

平成15年5月に重要文化財に指定された1958点の出土品の中には、保存修理が必要なものがあり、重要文化財指定直後から継続して修理しています。令和2年度は、土器7点、骨角器3点を修理しました。これらは、さんまるミュージアムなどで今後展示する予定です。令和3年度は、土器6点、骨角器6点を保存修理する予定です。※本事業は文化庁国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を活用して実施しています。